

# 七ころび 八起き

第3号  
平成24年  
冬号



Higashikakogawa Hospital

医療法人達磨会 東加古川病院

<http://www.tatsumakai.jp>

## 理念

- 1) 精神医療に携わることにより自覚と誇りを持ち、全力を尽くす。
- 2) 患者様、ご家族を含めた地域の人々の満足と信頼が得られるような病院づくりを目指す。
- 3) 地域精神医療に貢献するために、精神保健活動、啓蒙活動、対外活動を積極的に行う。
- 4) 安全な医療と安心できる環境を提供するために継続的な改善を重ねる。
- 5) 患者様の権利を尊重する。
- 6) 安定した経営基盤を維持する。

## 作品紹介

### 作業療法・デイケア 参加者の作品

右：デイケア ちぎり絵  
下：男性病棟カレンダー



## 新年のご挨拶



院長 森 隆志

新年明けましておめでとうございます。

皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、当院精神科医療に常々感じますところ、チーム医療的な連携はとれており実行もされているのですが、もう少し踏み込んだ連携が弱く、セクト主義的な、看護師は看護師の、OTにはOTの、PSWにはPSWの領域のようなものが暗黙の内に形成されていて、お互いのテリトリーを侵さないように遠慮しあっているような節があります。今まではこれでよかったのだと思いますが、これからの時代はもう一步踏み込む必要があるのではと考えています。

昨今、抗精神病薬の進歩は目覚ましい成果をあげてきておりますが、反面、陽性的な症状の改善が早過ぎるため、発病によって損なわれた自我・人格などの修復といった脱急性期後の治療が追いついていない印象があります。私はこれからの時代、薬物療法にティアアップした脱急性期後の治療の充実が必要であるとの信念を持ち、そのキーワードはより充実した「チーム医療」と強く思っております。それ故、このキーワードを当院の毎年の年度目標に掲げてきたのです。

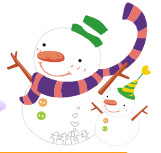
本年2月脱急性期後の治療、慢性期の治療などを主眼においた生活訓練センターが竣工致します。まさに当東加古川病院にとってこの年は「チーム医療」元年と言ってもよい年です。事の成否はこれから明確になってゆくわけですが、どうか当院のチーム医療元年の主旨をご理解いただき、ご協力をお願い致します。



# 行事特集



## クリスマス会



### 兵精協親善卓球大会

11月2日 姫路市中央体育館で兵精協親善卓球大会が開催されました。入院中の患者様が個人戦、男女混合チームの団体戦に出場し、日々の練習の成果を出し頑張りました。

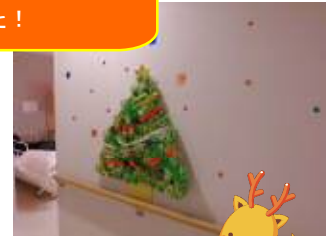


各病棟でもクリスマス会を行いました♪  
～右：女性開放病棟～

12月20日 病院全体のクリスマス会が行われました。夕映え楽団の演奏や、ビンゴ大会などで盛り上がりました。



病棟内やツリーの飾りつけも頑張りました！



## デイケア



### 日帰り旅行～岡山方面～

11月9日 年に一度の慰安旅行に！  
今回は、日生五味の市・日本のエーゲ海牛窓・みかん狩り…と盛りだくさん。  
袋いっぱいのみかんのお土産つきでした♪



### 第5回 兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会 ～ソフトバレーボール大会～

11月22日 グリーンアリーナ神戸で開催。  
障がい者支援センターでらだ利用者と合同で出場しました。月1回の合同練習を重ね、試合結果は惜しくも予選リーグ敗退…。本格的な会場でのプレーを楽しみ“来年こそは！”と、決意を新たにしました。



## おまけ

「七ころび八起き 第2号(秋号)」から、折り・封入作業をデイケアの有志でお手伝いしています。読む人に気持ちよく手にしていただけるよう“丁寧”に！を心がけて取り組んでいます。これからも不備のないよう頑張りたいと思います。



～折り作業～



～ラベル貼り作業～

# だるま家族会 ～活動報告～

東加古川病院には、平成8年に発足した精神疾患をお持ちの患者様のご家族の会である『家族会』があり、現在の会員数は38名です。

昨年11月に開催した「当事者のお話」では、特定非営利活動法人ハートフル様より当事者の方々を演者に迎え、講演をして頂きました。「結婚」というテーマについて、病気を理解し、自分らしく配偶者と共に生きていくことの楽しさを生の声で聞くことが出来ました。公聴者にはご家族の方や当事者のカップル、地域の関係者の方、当院の職員等、約80名のご参加を頂きました。今後も障がい当事者・ご家族と共に有意義な活動を行なっていきたいと思っています。

当家族会は、精神疾患をお持ちの患者様のご家族であればどなた様でもご参加頂けます。

東加古川病院の地域医療連携室までお気軽にお電話下さい。

活動日：第一土曜日 14時～16時 お話の会  
第三土曜日 14時～16時 定例会

《家族会メンバーの感想》



今までは自分の視点のみであったが、他の人の意見を聞くことで視野が広がり、子供との関わり方や、生き方を改めて考えることが出来た。家族会に入ってよかった。



～当事者の講演の様子～



## 医局コラム vol.2



### 「風邪の正体」

医師 大西 悠



今年も冬がやって参りました。この時節の気象は冷たく乾き、それゆえに街中もどことなく清浄な雰囲気に見えます。その一方で、多くの人々が風邪をひくやっかいな季節でもあります。風邪をひいてしまった場合、普通は発熱、咽頭痛、関節痛、咳、痰など多くの不快な症状に悩まされますが、これらの症状が極めて小さなウイルスが体内に侵入することに対する人体の防衛反応であることは、どれほど世間に知られているのでしょうか？「寒いから風邪をひく」のではなく、「寒さで人体の免疫が弱り、普段はおとなしいウイルスが人体に侵入して風邪をひく」わけなのです。ですから、ウイルスのいない無菌大陸とよばれる南極では、零下50℃という極寒にあっても決して風邪はひかないのです。

いったん侵入した外敵＝ウイルスは撃退されなければなりません。それがために体温をあげて免疫力を強化し(＝発熱)、喉を刺激してウイルスを排出(＝咳)させます。これが風邪症状といわれるものの正体なのです。つまり、あの不快な一連の症状は風邪の根本たるウイルスを退治するために必要不可欠なものなのです。



風邪をひかないためにも、日頃から規則正しい食生活とたっぷりと睡眠をとって、寒い冬を元気に乗り切りましょう。



# 取 り 組 み

## 心理室の紹介

心理室では心理検査やカウンセリングの他に入院患者様を対象として集団アートセラピーを行っています。カラージュ(貼り絵)、絵画、習字などの創作活動を通して患者様が自分らしさを表現できるように働きかけています。また、楽しい時間を過ごす中で人との関わりを体験していただけるよう配慮しています。このような心理面へのアプローチによって治療や援助に役立つよう取り組んでいます。

～カラージュの一例～



## 給食課 ～おせち料理～

元旦を院内で過ごされる入院患者様に、お正月気分を味わって頂きたいとお節料理を提供しました。



提供数:  
固形食 185人  
刻み食 115人  
ミキサ食 40人



## 外来診察のご案内

\*受付時間は月曜日から土曜日の 8:30～11:30 です。  
平成 24 年 1 月 現在

曜日	月	火	水	木	金	土
午前	森院長	玉田	森院長	森院長	高内	森理事長
	田原	大村	高内	太田	藤田	森院長
	小嶋	木村	正木	田原	小嶋	浅野
			浅野			大西
午後	正木 (予約のみ)	正木 (予約のみ)	正木 (予約のみ) (物忘れ外来)	堀野 (思春期外来)	小嶋 (予約のみ)	

広報誌 (PDF) はホームページからも閲覧・印刷可能です。



## 編集 後記

各病棟でクリスマスの飾り付けを患者様と作成し、職員も一緒になってクリスマス気分を楽しみました。「ケーキ上手く飾りつけできた。」「甘かったけど、おいしかったわ」との笑顔を見せていただき、今後も患者様と共に…という姿勢を大切に、広報も作成していければと思いました。



広報担当

## 医療法人達磨会 東加古川病院

〒675-0101 加古川市平岡町新在家 1197-3  
TEL : 079-424-2983 (代表)  
FAX : 079-424-2985  
HP : <http://www.tatsumakai.jp>

当院では 2004 年に ISO9001 を取得しています



QJ01045/ISO9001:2008



- 公共交通機関でのご来院  
JR東加古川駅下車 北口より徒歩10分
- お車でのご来院  
加古川バイパス 加古川東ランプ下車(山側すぐ)